

2006 年度

科目名 情報処理論	対象学科・学年 文学部コミ2回生 人間人社2回生	担当者 城 洋一
授業テーマ 情報処理技術の基礎を学ぶ		
授業の概要と目標 コンピュータのハードウェア、ソフトウェアなどについての基礎教育を行い、情報処理技術者試験やシステムアドミニストレータ試験の既出問題を中心に解説する。本学の演習室のように総てが準備された環境で、情報リテラシー（活用能力）を身につけることも大事であるが、自宅あるいは職場でコンピュータを導入するときはどうすればよいのか、周辺装置も含めたコンピュータのスペック（性能）を熟知することによって、初めて情報化社会に対応できる能力があるものと認められる。		
評価方法 定期試験と、随時行う小テストおよび出席率を勘案して総合的に評価する。		
テキスト 情報処理関連知識テキストシリーズ 情報処理概論 三訂版	著者 野々山隆幸 安藤明之	出版社 実教出版
参考書	著者	出版社
授業スケジュール・内容 1. 情報処理とコンピュータ、情報処理の定義、コンピュータの5大機能 2. コンピュータの入出力装置 3. 情報の表現 ビット、バイト、2進数・8進数・16進数 4. 主記憶装置 RAM、ROM、アドレス空間 5. 演算・制御装置 論理演算 6. 演算・制御装置 論理回路、加算器 7. 演算・制御装置 恵演算・制御装置の基本動作 8. 補助記憶装置 HDD、FD、CD-ROM、DVD、MO 9. 雑誌・新聞記事より 最新技術に関する解説 10. 通信ネットワーク ブロードバンド、ADSL、FTTH、LAN、bps 11. 情報処理システム バッチ処理、リアルタイム処理、コンピュータシステムの信頼性 12. プログラム言語と翻訳プログラム アセンブラ、コンパイラ、インタープリタ 13. ファイルとデータベース、オペレーティングシステム 14. 情報処理に関する法制度、セキュリティ 15. 雑誌・新聞記事より 最新技術に関する解説		